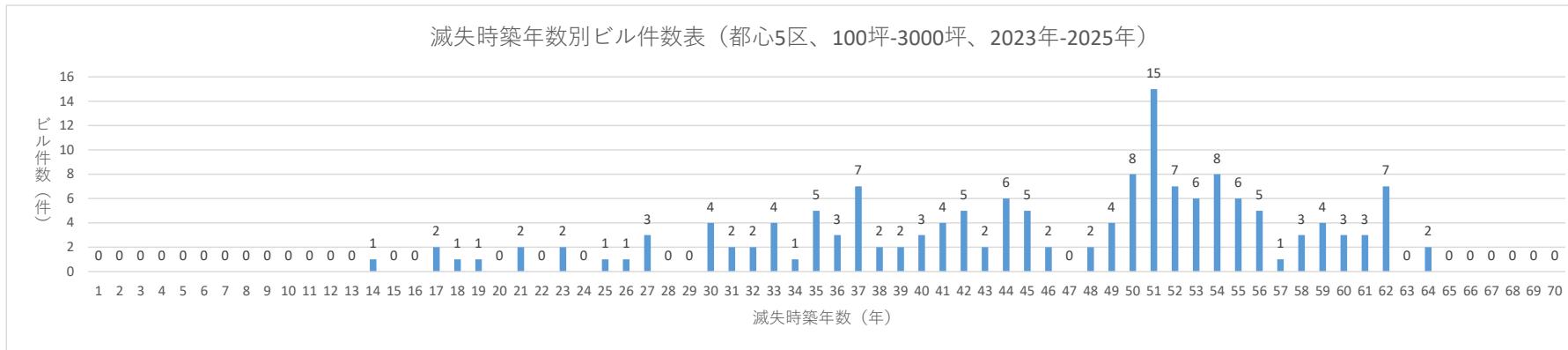


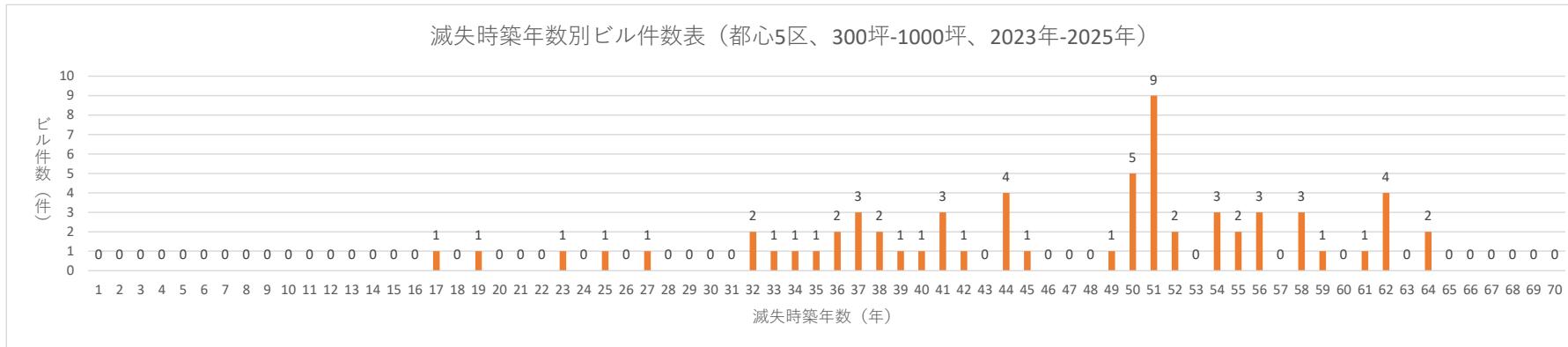
都心5区滅失登記集計

- 抽出条件 2023年から2025年の間に都心5区（渋谷区・千代田区・中央区・港区・新宿区）で滅失登記のあった100坪から3000坪の商業ビル ※株式会社estie調べ
- 集計件数 157件（全158件のうち、滅失時の築年数が不明な1件を除く）
- 築年数（滅失時） 平均45.5年／中央値49年（最小14年、最大64年）
 - ・築年数51年で取り壊すビルが目立つ、法定耐用年数（50年）が関係していると想像される。
 - ・延床面積と滅失時築年数に関連は薄い（相関係数0.15 ※1に近いほど関係があるといえる）
 - ・渋谷区で取り壊されているビルとその他の区で特徴は見えない
 - ・壊されるビルは中央区が特に多く、都心3区（千代田区・中央区・港区）で約8割を占める
- その他

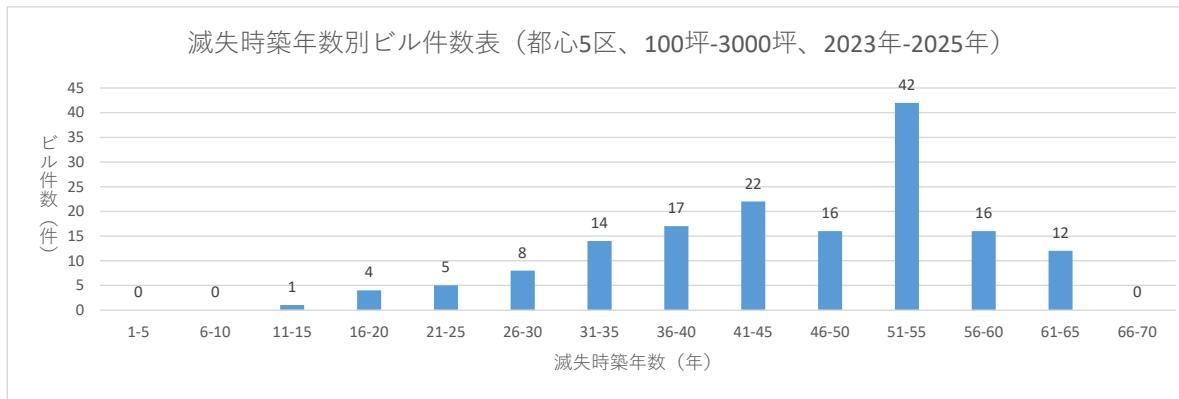
■滅失時築年数別ビル件数表（100坪-3000坪）※1年区切り



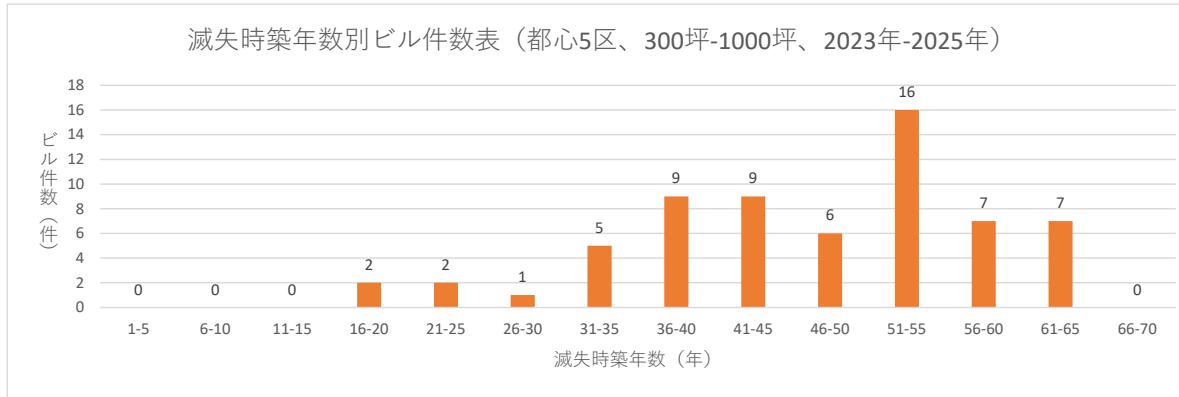
■滅失時築年数別ビル件数表（300坪-1000坪）※1年区切り



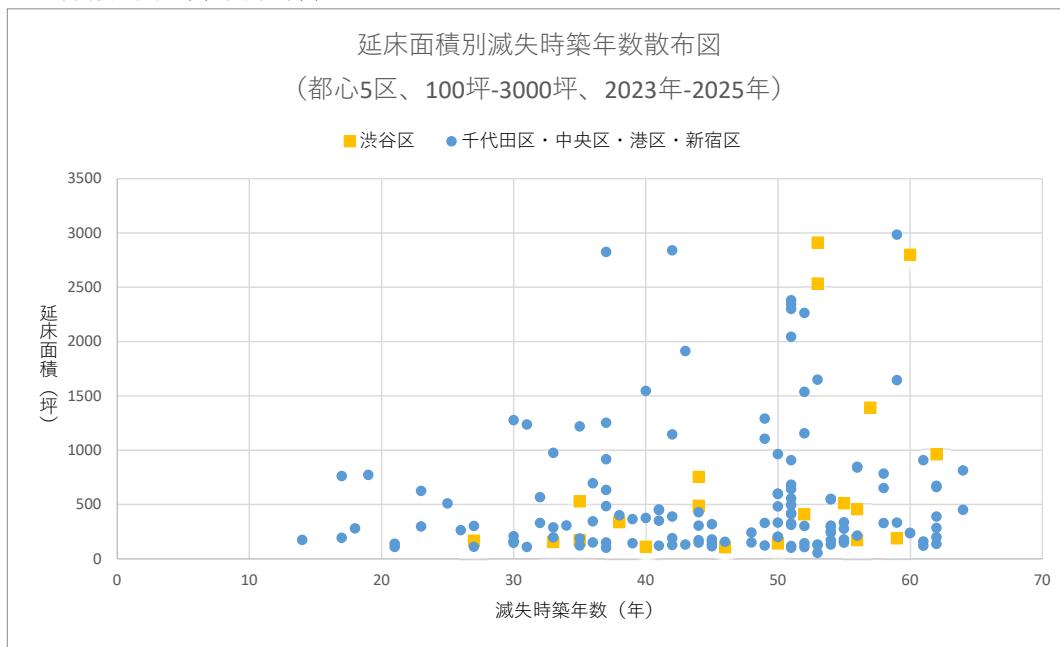
■滅失時築年数別ビル件数表（100坪-3000坪）※5年区切り



■滅失時築年数別ビル件数表（300坪-1000坪）※5年区切り



■延床面積別滅失時築年数散布図



■滅失件数、割合

